

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『ヒトの頭蓋内脳波・自律神経活動・行動情報の統合による神経回路モデルの開発』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2016 年 5 月 1 日より 2029 年 2 月 28 日までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科でてんかんの術前検査として、頭蓋内電極留置とビデオ脳波モニタリングを受けた方。

【研究期間】

研究実施許可受領後より 2029 年 3 月 31 日まで

【研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター・神経研究所・疾病研究第七部 室長 山下 祐一

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

本研究はヒトの頭蓋内脳波や自律神経活動、行動情報を統合して構築される神経回路モデルを開発することが目的です。神経回路とは脳の中の神経細胞が作るネットワークのことです。神経疾患・精神疾患には発症メカニズムが解明されていない疾患が多くあり、その研究手法として、神経回路で行われる情報処理をコンピュータでシミュレーションするアプローチが試みられています。本研究では、てんかん患者さんの術前検査で行われる、頭蓋内電極による長時間ビデオ脳波モニタリングで得られた脳波、心電図、行動ビデオを、ニューラルネットワーク(AIに用いられる技術)を用いて学習し、脳波のシミュレーションを行うことができる神経回路モデルの開発を行います。この神経回路モデルの開発とシミュレーションを通して、神経疾患・精神疾患の患者さんの脳の中で起きている現象の理解につなげることを目的としています。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：なし

情報等：診療録(年齢、性別、診断名、頭蓋内脳波データ、モニタリングビデオの結果、心電図)

提供する試料・情報の取得の方法

試料：該当なし。

情報：カルテの診療録から入手します。モニタリングビデオについてはプライバシーに配慮し、行動情報を抽出し、個人情報を除去したデータを使用します。

【利用又は提供を開始する予定日】

研究実施許可受領後に利用開始を予定しています。

作成年月日： 2024 年 8 月 14 日 第 1.1 版

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

所属 疾病研究第 7 部 氏名 山下 祐一

電話番号 042-341-2711

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)